

令和4年度

事業報告書

学校法人 宝仙学園

## 令和4年度事業報告書

### 1. 令和4年度の事業概要

令和4年度は3カ年の中期経営計画の仕上げとなる重要な年であり、創立100周年に向けて掲げた長期経営ビジョン「感応の心を大切に、共に学び、高め合う、理想の学び舎を創造する」の基礎を固め、次の中期経営計画の組み立てにつなげる一年でした。また、3年の永きにわたるコロナ禍の中、各学校は様々な困難を乗り越え、ICT教育の充実やデジタル化による事務効率化に積極的に取り組んでまいりました。令和4年度は制限付きではありましたが、学校運営も徐々に平常を取り戻し、終盤ではほぼ平常どおりに学事を展開できるようになりました。

中期経営計画における経営目標の最重要課題とした「財務基盤の強化」は、単年度の事業計画の策定にあたっても学園の重点課題に位置付けられており、創立100周年記念事業の柱となる校舎建替の具現化に着実に結び付けなくてはなりません。その根幹と言える学則定員の充足に向け、募集活動において各学校はそれぞれ独自の入口戦略を展開し、引き続き順調に成果を上げることができました。学園全体として、園児・児童・生徒・学生数の合計は2,539名であり、充足率は112%となり、着実に財務基盤の強化につながりました。また、経営成績の指標となる事業活動収支差額は補正予算を大きく上回る4億21百万円を計上し、収支差額比率も14%となり目標の8%以上を達成しました。

もう一つの経営目標とした「部門間連携」は確実に進化しています。特に幼稚園と小学校、高校女子部と大学間で大きな成果を見ることができました。さらに小学校と中学高等学校の連携協議が進展し、今後も学園総合力が大いに発揮されることが期待できます。

また、新規施策として取り組んでいるICT戦略への挑戦、デジタル化の推進は、一步先を行く教育基盤の整備や、業務効率化による事務作業の軽減として結果を残しました。

人材戦略として、公平公正な処遇の実現、学園の改革及び発展に必要な人材の確保・育成を目的とした新人事評価制度を導入しました。この制度による成果は単年度では評価できませんが、成果主義に基づく本制度により、各人が仕事にやりがいを持ち業績向上に努め、明るく働き甲斐のある職場環境の実現を目指します。

上述のとおり令和4年度は中期経営計画に掲げる経営目標をほぼ達成できたと言える充実した一年となりました。

以下、部門別に見た令和4年度の事業概要を報告します。

こども教育宝仙大学は、大学としてのMission、Vision、Valueを策定し、Visionとして定めた「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」「90年の信頼『保育の宝仙』を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」を、具体化して推進する「こども教育 HOSEN WAY」プロジェクトを企画し全教職員で取り組んでいます。令和3年度からは、「こども教育HOSEN WAY II」に移行し、30のプロジェクトを定め、大学改革と内部質保証に向けた取組を更に強化しています。

教学面では「存在感あふれる保育単科大学を作り上げる」を目標とし、教育の質向上に取り組まれました。新型コロナウイルス感染対策では、前年度に引き続き対面授業と遠隔授業を併用したハイブリット型の授業運営を行いました。本年度は、学生の学びを一層充実させるため、授業科目の見直し、配当年次の変更、こども心理マイスター新設など次年度に向けカリキュラムを改定しました。

18歳成人化に伴い、「成人基礎力」を定めて1・2年生対象に教育し、その後も毎月「成人基礎力チェックシート」を用い、定着を図りました。また、本年度からオーストラリア保育留学制度をスタートさせました。第1期生5名が、令和5年2月から12月までの日程で渡豪しました。コロナ禍で中断していたオーストラリア国外保育体験も、3年ぶりに再開し8名が参加しました。なお、本年度も本学の教育への取り組みが評価され、昨年度に引き続き「私立大学総合改革支援事業タイプ1（特色ある教育の展開）」に選定されました。

実習に関しては、コロナ禍においても、実習園・施設との信頼関係を基礎とし、すべての実習を実施できました。実習を終えた4年生を対象に、継続的に保育に参加しながら実践力を養うため「保育実践フィールドワーク」を秋学期に開講しました。また、幼稚園及び保育所等との信頼関係を強化しながら、現場課題の共有、解決策検討等の場として「HOSEN 保育フォーラム」を2回開催し、実習体制等に役立つ成果を上げました。本年度卒業生の免許・資格取得率は、幼稚園教諭一種免許状79.8%、保育士資格91.7%、免許・資格両方取得者77.4%でした。なお、教職課程自己点検評価を実施し、報告書を公表しました。

本年度から「実習・キャリアサポートセンター」を設置し、実習及びキャリアサポートにおける学生、卒業生支援の充実や、実習、就職先との更なる関係強化も図っています。就職では、感染症拡大防止による就職活動への影響がある中、卒業者数に占める就職者率92.9%、希望者就職率は100%で、そのうち保育職就職率は92.3%でした。なお、就職者の19.3%が公務員等に就職しました。

学生募集では、新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ、来校型のオープンキャンパス開催、指定校や宝仙学園高等学校女子部との関係強化を柱に活動を行いました。18歳人口の減少、保育系進学希望者の減少等により定員割れの大学が増加する中、教育内容の他大学との差別化、受験生に対する丁寧な進学アドバイスなどの取り組みにより、今年度新入学者104名、転入学者1名で入学定員を充足しました。学生数も406名となり、引き続き収容定員も充足できました。

社会貢献・地域連携の推進では、こども教育研究センターが中心となり、地域子育て支援室「ぷちとまと」「HOSEN こどもフェスティバル2022」、中野区委託事業「保護者支援プログラム」の開催、中野区保育実務研修への講師派遣等、コロナ禍においても可能な限り活動を継続しました。

中学校・高等学校としては、100周年記念事業の計画が学園側より提示され、新しい教育について考えるスタートの年となりました。また、100周年の記念事業が2025年度よりスタートすることを在校生・受験生に向けて発信をし、具体的な内容を学園とともに構築している最中です。100周年事業に向けては、小中高連携が求められます。より一層が小学校との連携を強化することを令和5年度の重要項目としています。引き続き、より良い100周年事業が迎えられるように議論を進めていきたいと考えています。

そのような中、中学校・高等学校校共学部『理数インター』は、自己ベストの更新をスローガンとした進学校として、11回目の卒業生を送り出しました。入学式もオンライン開催であり、授業・行事と新型コロナウイルス感染症に悩まされた卒業生も、教員の支援を受けて、大きな成果を上げたと思います。卒業生214名の卒業生が自己ベストを目指し、それぞれの進路を切り開きました。特に11期生は国公立大学への合格数が昨年度と比べても多く、医学部医学科への現役合格者は実数で7名と過去最多となりました。新入生は、中学校253名、高等学校209名となり、中高で1369名に達しました。

女子部『こども教育コース』は、学園の伝統文化である保育文化を担っています。生徒数は79名ですが、70周年記念棟を新しい校舎として、こども教育宝仙大学と宝仙学園幼稚園の力も借りながら、教育活動を行っています。また、女子部のダンス部は全国大会の常連校で、学園の知名度向上にも貢献をしています。

それぞれの良さを生かしつつ、本校独自の個性を発展させていきたいと考えています。

小学校は、令和4年度コロナ禍の中でも、できることはできるだけ実施することを目標にして、教育活動に取り組んできました。集会活動や行事でも対面での活動が増え、子どもたちの笑顔も広がり、保護者からの信頼と支持を得ることができました。70周年記念行事も滞りなく実施することができ、大切な節目となり、児童にも思い出に残るものとなりました。

建学の精神「品格と知性を兼ね備えた人を造る」のもと、豊かな人間性と確かな学力を育むことを目標に据え、教育活動に取り組んでいます。仏教の精神に基づいた道徳の授業の推進を図り、他者を思いやる心を育てることができました。また、学力の育成では、教員の授業力の改善と向上を目指し、研修・研究活動を充実させました。6月と12月に研究発表会を実施し、外部からも参観者を迎え、教員の大切な学びの機会となり、資質の向上につながっています。

入口戦略・出口戦略とも概ね良好な結果でした。さらなる向上を目指すために、広報活動の見直しを行い、新規に入試結果報告会を行うなど新たな取組を実施しました。また、オンライン活動の併用しながらも対面での活動を重視しました。今後、100周年に向けて、幼小中高大の連携をさらに強めていくことが求められています。さらに、幼稚園や中高との連携を着実に進めていくことや小学校として、新たな教育活動の柱を生み出していくことが課題です。

幼稚園では、「遊びの中の学び」を大切に考え、保育の場では教員が常に意識し、様々な体験・経験を通し、各学年での子どもの育ちを生み出していきました。一人ひとりの育ちを把握、確認し、進級のたびに子ども一人ひとりの今までの育ちを生かす保育を展開することを十分に意識しながら、教員間の連携も深めていきました。

保護者には、本園の教育の理解を深めていただくために、教育計画を配布しました。また、家庭教育（母親指導）も重要と考え、母親教育にも力を注ぎました。

人として「感応の心」を育てることの大切さをもとに、家庭と子どもの育ちや課題を確認し合うことで、園生活や家庭生活の仕方、関わり方を工夫する手立てとなりました。

コロナ禍ではありましたが、前年度からの園内環境のコロナ対策（玄関・保育室入口等消毒液の設置、園庭遊具の消毒作業、職員室・保育室のアクリル板設置等）を引き続き行いながら、園行事など少しずつコロナ前の状況に戻していき、保護者の信頼を獲得する努力もしました。

## 2. 学校法人の概要

### (1) 建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える大いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育であります。

### (2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

#### ② 学校設置等

昭和 2年 3月 感応幼稚園設置認可

昭和 3年 1月 中野高等女学校設立認可

昭和 10年 3月 仏教保育協会保姆養成所設置認可

昭和 14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和 19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)
平成 19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成 20年 10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成 21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
平成 21年 4月	宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
平成 22年 4月	宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (令和4年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制(普通科)
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和4年5月1日現在)

学校名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	400	
宝仙学園高等学校	245	735	788	
宝仙学園中学校	135	405	644	
宝仙学園小学校	70	420	452	
宝仙学園幼稚園	—	315	255	

(5) 役員概要 (令和4年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
理事	7～10人	10人	常勤－8人 非常勤－2人
監事	2人	2人	非常勤－2人

(6) 評議員概要 (令和4年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	22	常勤－12人 非常勤－10人

(7) 教職員概要 (令和4年5月1日現在)

区分	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本部	合計	
教員	本務	18	40	41	25	16	0	140
	兼務	18	29	21	2	3	0	73
職員	本務	17	8	3	2	3	6	39
	兼務	4	3	3	2	4	1	17

### 3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。  
会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・令和4年度開催回数6回

<主な議案>

- ・役員、評議員の改選
- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度収支決算
- ・令和4年度補正予算
- ・中期経営計画（令和5年度～令和7年度）
- ・令和5年度経営計画・収支予算計画
- ・学園規則類の制定・改廃
- ・資産の売却
- ・校舎建替え（創立100周年事業）の計画策定

(2) 評議員会開催の状況・・・令和4年度開催回数5回

<主な議案>

- ・監事、理事の改選
- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度収支決算
- ・令和4年度収支補正予算
- ・中期経営計画（令和5年度～令和7年度）
- ・令和5年度経営計画・収支予算計画
- ・資産の売却

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会6回、評議員会5回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）

(4) 法定監査の状況・・・令和4年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 令和4年度の主な教育活動

<大 学>

- ・2022年度入学式（R4. 4/2）
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためハイブリット型授業開始（R4. 4/6）
- ・宝仙学園幼稚園での体験学習（R4. 6/13・14、 11/14・18・21）
- ・女子部こども教育コース高大接続（出張授業実施（9回）、大学ゼミナール体験8/26、探究学習発表会1/30）
- ・教育実習（実習期間 R4. 5/23～7/26）
- ・保育実習Ⅰ（施設）（実習期間 R4. 6/14～R5. 3/30）
- ・学生向けワクチン接種（R4. 5/18）
- ・「HOSEN こどもフェスティバル 2022」開催（R4. 11/6）
- ・保育実習Ⅱ・Ⅲ（保育所・施設）（実習期間 R4. 10/20～R5. 2/3）
- ・大学入学共通テスト 東京女子大学と共同実施（R5. 1/14・15）
- ・保育実習Ⅰ（保育所）（実習期間 R5. 1/30～3/7）
- ・オーストラリア海外保育留学（ R5. 2/18～R5. 12）
- ・オーストラリア国外保育体験（ R5. 2/18～2/25）
- ・卒業研究発表会（対面式で実施 R5. 3/3 ）
- ・第11回学位記授与式举行（R5. 3/19 ）
- ・こども教育研究センター「2022年度 活動報告書」発行（R5. 3月）
- ・子育て広場「ぷちとまと」開催（R4. 4/22、5/13・27、6/3・17、7/8・22、9/22、10/6・20、11/10・17、12/1・15、 R5. 1/12、2/2・16）
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催（R4. 6/11、9/13、11/12、 R5. 2/3）
- ・「中野区保育実践研修」に講師として本学教員派遣（R4. 9/13・16、12/6・13）
- ・「HOSEN 保育フォーラム」開催（R4. 7/9、R5. 3/4 ）
- ・「実習担当者会」開催（R5. 3/4 ）

<中学校・高等学校>

(共学部)

- ・入学式（R4. 4/1）
- ・高3春合宿／水上温泉（R4. 4/8～11）
- ・高校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ（R4. 5/10）
- ・中学校体育祭／武蔵野の森体育館スポーツプラザ（R4. 6/8）
- ・中3芸術鑑賞会（R4. 7/13）
- ・中1林間学校／水上高原（R4. 7/20～22）

- ・高校夏期講習(R4. 7/25～28, 8/22～25)
- ・中学夏期講習(R4. 8/26～27, 29)
- ・ニュージーランド語学研修(中止)
- ・マルタ研修(中止)
- ・宝仙祭(中・高)(R4. 10/22～23)
- ・中2長崎研修旅行(R4. 11/3～5)
- ・中3沖縄研修旅行(R4. 11/9～12)
- ・中1十三詣り(R4. 11/12)
- ・高2西日本周遊修学旅行(R4. 11/16～21)
- ・中1ネイチャープログラム／江の島・鎌倉(R4. 11/22)
- ・中学グローバル・ALコース英語プレゼンテーションコン(R4. 11/26)
- ・中1, 2, 高1, 2 芸術鑑賞会(R4. 12/22)
- ・中高冬期講習(R4. 12/22～24)
- ・高校冬期講習(R4. 12/22, 24, 26, 27, R5. 1/4～6)
- ・高1関西研修旅行(R5. 1/16～18)
- ・中学合唱祭／中野ゼロホール(R5. 1/19)
- ・中3卒業プレゼンテーション(R5. 1/28)
- ・中2職場体験(R5. 2/1～4, 10, 12)
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト(R5. 2/18)
- ・4年探究発表(R5. 3/6, 17)
- ・高校英語プレゼンテーションコンテスト3(R5. 3/10)
- ・高校卒業証書授与式(R5. 3/14)
- ・中学校卒業証書授与式(R5. 3/16)

(女子部)

- ・入学式(対面)(R4. 4/5)
- ・始業式(対面)(R4. 4/6)
- ・交流会(新入生歓迎会)(R4. 4/16)
- ・ズーラシア校外学習(R4. 4/27)
- ・体育祭(R4. 5/28)
- ・高I宝仙学園幼稚園見学実習(事前にPCR検査受けての実施)(R4. 5/30)
- ・高II宝仙学園幼稚園見学実習(事前にPCR検査を受けての実施)(R4. 6/1)
- ・高III宝仙学園幼稚園実習(事前にPCR検査を受けての実施)(R4. 6/3)
- ・高III宝仙寺にて合格祈願(R4. 6/6)
- ・高II・III北海道研修旅行(R4. 6/7～11)
- ・生徒総会(R4. 6/20)
- ・高II宝仙学園幼稚園実習(事前にPCR検査を受けての実施)(R4. 6/28)
- ・夏期講習I期(R4. 7/21～23)
- ・大学ゼミ体験(夏期講習II期)(R4. 8/25)
- ・夏期講習II期(R4. 8/26)
- ・宝仙祭(R4. 10/22～23)

- ・Hosen Art Festival VOL.2（西東京市こもれびホール）（R4.11/21）
- ・生徒会選挙（R4.11/28）
- ・冬期講習（R4.12/23～24）
- ・芸術鑑賞会（劇団四季「アナと雪の女王」）（R5.1/25）
- ・高Ⅲ卒業プレゼンテーション（高大連携プレゼン・大学4号館）（R5.1/30）
- ・音楽祭・三送会（R5.3/1）
- ・卒業証書授与式（R5.3/3）
- ・フィリピンとのオンライン交流（Ⅰ・Ⅱ年）（R5.3/8～9）
- ・法律教室（特別編成授業）（R5.3/17）

#### <小学校>

- ・コロナ禍でも学校として、できる限り、対面での活動、行事等の実施を行ってきた。
- ・安定した入口と出口の成果を目指して、概ね目標を達成することができた。
- ・「学習者中心の学び」を研究テーマに、公開授業研究発表会を2回実施した。
- ・指導力向上のための研修会は、年間講師に、梶浦真氏、平井聡一郎氏を招聘し実施した。
- ・ICT教育推進の取組みは、教育活動の柱の一つとして、さらに推進をしている。
- ・外部業者とも連携し、広報担当、入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた広報活動の充実と改善に取り組む。
- ・宝仙小の未来設計の柱として「アドミッション・カリキュラム・ディプロマ」の3つのポリシーの周知と定着を図っている。
- ・保護者や外部への教育活動報告の場として「Hosen教育レポート」の発信を充実させた。
- ・本年度も保護者対象のICT研修会や体験会を実施し、情報モラルや情報リテラシーについて学ぶ場を設定した。
- ・校内研究は、研究テーマ「主語が学習者となる、学びのデザイン」を掲げ、教員がチームとなって授業研究を行う「チーム研究」を実施した。
- ・卒業時に目指すべき児童の姿を示す「ディプロマポリシー」を具現化する、資質・能力を「コンピテンシー10」として明確にし、教育活動の柱として取り組んだ。
- ・サッカー、金管バンド、笛クラブなど朝の課外活動は休止した。

#### ・行事について

（5月から3月までの期間）各学年で進級遠足、体験的校外学習、社会科見学等は、各学3回実施

（6月・10月・2月）各学年別に授業参観と父母会の実施

（6月16日～18日）6年生修学旅行は、2泊3日で鎌倉・江の島方面、研修学習を実施

（7月18日～20日）5年夏の自然学校、2泊3日で千葉県鴨川 自然体験教室を実施

\*2～4年の宿泊行事、スキースクール、イングリッシュキャンプは中止

（10月1日）運動会は3年ぶりに全校での運動会を実施

（10月22日23日）宝仙祭は、2日間、学年発表会と作品展を実施

（11月7日）開校70周年祈念式典・航空写真・タイムカプセルの掘り起こし（6日）

（12月11日）卒業生対象に「20・10年後自分宛ての手紙」の配布の集いを実施

- (2月24日) 6年生を送る会は対面で実施
- (3月1日) 卒業研究発表会は、保護者も見学し、5年生も参加して実施
- (3月13日) 卒業式は通常の形式で実施、5年生も参加、保護者も制限なし

・その他

- (4月27日) 父母会総会オンライン (6月12日) 光葉会、昨年度卒業生のみ参加
- (7月2日) 宝友会総会、対面での実施

<幼稚園>

- ・コロナ禍による保育環境の整備
  - ／園庭遊具の消毒作業、職員室・保育室の亚克力板設置等
- ・ 戸外遊びの充実／年齢に応じた戸外あそびの工夫
- ・ 英語教育／全学年ともに原則週1回
- ・ リトミック活動／全学年ともに原則月1回
- ・ 本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室（3回）
- ・ 本学園大学との連携教育活動／宝仙祭活動（コロナ禍のためなし）
- ・ 園内研修の充実／年間テーマ「教育計画2017」の改定（2年計画）
  - 4月（2回）：改訂の方向性の話し合い、教育目標検討
  - 4月29日：管外園内研究 テーマ「保育・指導課程論」
  - 講師：白梅学園大学 こども学部教授 師岡 章先生
  - 6月：満3歳児（空組）教育内容検討
  - 11月：3歳児（年少組）教育内容検討
  - 1月：4歳児（年中組）教育内容検討
- 研究保育
  - 年間2回：「研究保育」年中担任 梅津真衣
  - ゲーム指導・制作指導
  - 年間2回：「研究保育」年少担任 近藤菜奈
  - 制作指導・表現遊び
  - 年間2回：「研究保育」年少補佐 大竹菜々佳
  - ゲーム指導・制作指導
- ・ 仏教行事／花まつり（4・5歳児）・両大師祭（5歳児のみ）、みたままつり（全学年）
  - おつとめ(学年別8回) 地藏祭（7回）
- ・ 避難訓練、防犯訓練の実施（年間4回）、AED講習会開催（R4.9/5）
- ・ 公開保育・体験入園・入園説明会／2・3年保育と満3歳関係と実施時期を分け行う
  - 入園説明会：制限なし対面で行う
  - 体験入園・公開保育：人数制限なし
- ・ 進学講演会開催／進学講演会Ⅰ（R4.6月7日）「小学校受験に大切なこととは…」理英会
- 進学講演会Ⅱ（R5.1月27日）「2023. 入試速報」理英会
- ・ 母の会主催講演会／R5.2.20「究極の子育て・認知能力と非認知能力について」
  - 講師：教育アドバイザー おおたとしまさ先生
- ・ 「楽しい子ども会」実施／園児表現活動の保護者参観（R5.2/13～17）
  - 4・5歳児 2クラス単位（ペアクラス）時間短縮のため内容縮小

満3・3歳児 クラス単位 時間短縮のため内容縮小

- ・中央線沿線私立幼稚園合同説明会／制限ありの実施のため資料のみ配布

#### <全学園>

- ・創立者忌日法要 (R4. 6. 29) 参列者：各部門の役職者 (管理職以上)  
園児・児童・生徒・学生はオンラインで視聴
- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園 (R4. 10/22～23)  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し共同開催  
大学 部門テーマ「未来につなげる第一歩」学内展示  
中学・高等学校共学部 部門テーマ「HO-SENSATION」作品上映、展示  
高等学校女子部 部門テーマ「雲外蒼天～無現の彼方へ」  
ミュージカル・ダンス部・バトン部  
小学校 部門テーマ「子どもの発表会、児童作品展、Enjoyほうせん」  
児童作品展・オンラインワークショップ  
幼稚園 部門テーマ「子どもの作品展」作品展示  
＜ 合同企画「宝仙学園の素敵なところ」＞
- ・長谷寺仏教研修：(R4. 8. 24～26)

#### (6) 令和4年度の主な事業活動

##### <学園の活動>

- ① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項
  - ・宝仙学園個人情報の保護に関する規程廃止 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園個人情報保護規程制定 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園クラウドサービスの利用に関するガイドライン制定 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園ICT推進・管理規程改正 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園情報セキュリティポリシー改正 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園特定個人情報取扱規程改正 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園公益通報者保護規定改正 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園出勤簿管理規程改正 (R4. 4/1施行)
  - ・こども教育宝仙大学学則改正 (R5. 4/1施行)
  - ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程改正 (R5. 4/1施行)
  - ・こども教育宝仙大学教職課程履修規程改正 (R5. 4/1施行)
  - ・こども教育宝仙大学保育士養成課程履修規程改正 (R5. 4/1施行)
  - ・宝仙学園就業規則訂正 (R5. 3/18)
  - ・宝仙学園高等学校学則改正 (R5. 4/1施行)
  - ・宝仙学園定年規定改正 (R5. 4/1施行)
  - ・宝仙学園契約教員就業規則改正 (R5. 4/1施行)
  - ・宝仙学園契約職員就業規則改正 (R5. 4/1施行)
  - ・宝仙学園事務組織規則改正 (R4. 4/1施行)
  - ・宝仙学園寄附行為 (R4. 8/9施行)

## 教育環境整備の推進状況

### ・大 学

愛川グラウンド改修工事 (3,415万円)

3号館デスク設置工事 (695万円)

電子ピアノ取替更新 (195万円)

図書館管理システム更新 (199万円)

### ・中 高

3号校舎 教室内、廊下&階段塗装工事 (110万円)

3号校舎 教室カーテン&ロールスクリーン更新工事 (270万円)

4号校舎 図書室空調機更新工事 (500万円)

70周年記念館 生徒用ロッカー新規購入 (200万円)

生徒用机80台・椅子50脚追加購入 (190万円)

教員用iPad80台購入 (1,100万円)

生徒用ノートPC40台購入 (945万円)

教員用ノートPC11台購入 (274万円)

### ・小学校

LED誘導灯更新工事 (117万円)

空調設備の全面的な改修(8,613万円)

教員用PC・タブレット購入 (544万円)

理科教育設備整備費等補助金による実験機材等の購入(117万円)

### ・幼稚園

LED誘導灯更新工事 (35万円)

プレイルームプロジェクター (48万円)

談話室・母の会室改修工事 (100万円)

無線LAN増強工事 (276万円)

## ② 学園運営管理施策の推進状況

- ・令和4年度監事への経営報告会の実施 (年3回)
- ・中期経営計画 (令和5～7年度) 策定検討会 (R4.7/1～R5.2/24)
- ・令和5年度経営計画の部門別検討会の実施 (R5.1/23～1/26)